

ふくい協同労働推進協議会 活動報告(R8.2.16)

○協議会構成員

福井県

ふくい協同労働推進ネットワーク

福井県民生活協同組合

北陸労働金庫福井支店

福井県中小企業団体中央会

福井市、敦賀市、小浜市、大野市、勝山市、鯖江市、あわら市、越前市、坂井市、
永平寺町、池田町、南越前町、越前町、美浜町、高浜町、おおい町、若狭町



モデル事業実施に至った経緯と目的

1 労協活用に向けた福井県のこれまでの取り組み

○協同労働による雇用創出応援事業(県事業)

- ・県民対象のセミナーを開催し、協同労働の周知と活用を促進(R4~)
- ・労協への移行が想定される団体等に対し、アンケートを実施(R4)
- ・設立に向けた専門家による個別相談会を実施(R5)

○行政職員向け研修会

- ・県、市町職員、産業支援機関職員等を対象とした研修会を開催(R4・R5)



2 労協の活用を広めるための新たな課題

・取組みを通じて、障がい者等の居場所づくりや子ども食堂、保育、農作物の生産・販売など、さまざまな活用可能性がある」と判明

・しかし、福井県において労協の設立事例はなく、普及には課題が残る

→設立に至らない理由として

- ①制度の理解が十分に深まっていない
- ②発起人が集まらない
- ③立上げ後の運営に不安がある

などが挙げられる



労協のさらなる活用促進のため、国モデル事業に応募

モデル事業の取組み内容

ふくい協同労働推進協議会の体制

構成団体	役割
福井県	<ul style="list-style-type: none">・事業の進捗管理・行政の立場を活かした総合支援
ふくい協同労働推進ネットワーク (事務局:ワーカーズコープ)	<ul style="list-style-type: none">・協議会事務局の設置・運営・全国の事例を活かした総合支援
福井県民生活協同組合	<ul style="list-style-type: none">・生協組合員に向けた労協の周知・労協設立支援(生協事業関係:弁当宅配等)
北陸労働金庫 福井支店	<ul style="list-style-type: none">・労金のネットワークを活用した周知広報・協議会の監事業務
福井県中小企業団体中央会	<ul style="list-style-type: none">・労協設立・運営支援
県内市町 (全17市町が参加)	<ul style="list-style-type: none">・住民、ボランティア団体、任意団体等に向けた労協の周知

モデル事業の取組み内容

課題① 制度の理解が十分に深まっていない

- (1) 勉強会・ワークショップの実施
労協の理解促進のため、事業統括員等を講師として実施
- (2) 相談窓口の運営
労協に関する相談に電話やメール等で対応する窓口を設置

課題② 発起人が集まらない

- (3) 設立・運営にかかる伴走支援
事業統括員等が労協の設立までの活動に対し、継続的に支援
- (4) 多様な雇用機会実現のための支援【R7~】
様々な機関と連携し、多様な人材と労協のマッチングを支援・設立事例を積極的にPR

課題③ 立上げ後の運営に不安がある

- (3) 設立・運営にかかる事業統括員等による伴走支援(再掲)
設立後の運営についても伴走支援
- (4) 多様な雇用機会実現のための支援【R7~】(再掲)
- (5) 働く人のウェルビーイング向上のための支援【R8~】
関係機関や社労士による労務管理等の相談対応を行い、働きやすい環境づくりを支援



令和6年度の取組み実績

支援メニュー	項目	アウトプット指標	
		予定	実績
(1) 労働者協同組合についての相談窓口の運営	相談件数	30件	41件
(2) 労働者協同組合に関する勉強会・ワークショップの実施	勉強会・ワークショップ開催回数	10回	6回
	参加者数	30人	71人
(3) 労働者協同組合の設立・運営にかかる事業統括員等による伴走支援	伴走支援を行った件数	5件	5件

※相談件数は対面・メール・電話・FAX等 延べ件数(伴走支援としての対応も含む)

※伴走支援の件数は団体・個人の数のカウント

令和7年度の取組み実績

支援メニュー	項目	アウトプット指標	
		予定	実績 (R8.1.30)
(1) 労働者協同組合についての相談窓口の運営	相談件数	40件	18件
(2) 労働者協同組合に関する勉強会・ワークショップの実施	勉強会・ワークショップ開催回数	10回	11回
	参加者数	60人	167人
(3) 労働者協同組合の設立・運営にかかる事業統括員等による伴走支援	伴走支援を行った件数	8件	7件

※相談件数は対面・メール・電話・FAX等 延べ件数(伴走支援としての対応も含む)

※伴走支援の件数は団体・個人の数のカウント

取組み(1)相談窓口の運営

○労協に関する相談に対応する窓口を設置

- ・協議会事務局である労働者協同組合ワーカーズコープ・センター事業団福井事業所内に設置 (R6.8~)
- ・電話やメール等により対応【受付時間:平日10時~16時】
- ・相談窓口の案内のほか、勉強会やワークショップの出張開催等を記載したチラシを作成・配布
- ・関係各所に周知依頼、HPへの掲載のほか、県から報道機関へ投げ込み

取組み(2)勉強会・ワークショップの実施

○対象者・開催場所

- ・福井県民生活協同組合(職員および組合員)
- ・大学における出張講義
(福井県立大学「社会的起業論」講義、
福井大学 医学部看護学科の全学生)
- ・労協の設立を検討する団体
- ・住民グループ
(テーマ:「地域の課題を地域で解決するには」)
- ・市役所、コミュニティセンター職員

ろうきょう(労働者協同組合)とは、多様な働き方を実現しつつ、地域課題に取り組むための新しい組織です。県民せいきょうは地域コミュニティの推進や協同組合の持続可能な発展に向けてこの活動を支援しています。

ろうきょう 労働者協同組合

地域づくりを仕事にする新しい働き方

“基本原理”

- 1 資金を出し合う**
組合員が出資することにより組合の資本形成を行います。
- 2 話し合って営む**
組合員は、1人1人の意見等及び実情があり、組合員の意見を反映して事業展開を行います。
- 3 共に働く**
組合員は、原則として、組合の事業に就業する必要があります。

2022年10月、労働者が出資し、その意見を反映して自ら仕事する「労働者協同組合」という新しい法人制度がスタートし、全国で労働者協同組合を活用した、新しい働き方、地域づくりが広がっています。

全国の設立事例

第1号! 労働者協同組合「りたねっと」
「利他」の精神で「お互いさま」の関係を
「りたねっと」は高齢者の声に耳を傾ける地域活動や、地域コミュニティの活性化を目的として設立された労働者協同組合です。組合員は、それぞれが持っているスキルを活かしながら、課題を柱とした活動や、課題によって引き出された高齢者の強みを地域の活性化に繋げるなどの取り組みを進めています。

第2号! 労働者協同組合「チャイルドセンター彩葉」
子どもたちの生きる力、学習も応援する
「チャイルドセンター彩葉」は、児童発達支援サービスや子どもたちの就業支援を目的として設立された労働者協同組合です。組合員は、子どもや若者が様々な体験や学びを通じて安心して過ごし、生きるとして夢を実現することができるような環境を整えるサービスや、就業支援を行うを目的です。

労働者協同組合 ワークスコープ・センター事業団「確踏まちづくりテラス輪気堂々」
札幌市・網走市・稚内市・ノロニエティカブエ

本日も継続に「問題がある」毎日
「問題がある」は、元々の「問題」を「労働者協同組合」でもあり、働く人々の組合員が自らに誇りがあふれます。長年継続してきたことができたのは、人間関係でうまくいってなかった課題を持つ仲間たち、個性の異なる人々が働く職場では、誰かや誰かによってうまくいってしまいましたが、「労働者協同組合」でこの「問題」は解決しました。解決したことが足らぬその日のうちに「労働者協同組合」(本日も継続に「問題がある」を聞いて、話し合いをします。話し合ううちに理解が深まり、いつの間にかいい関係になることもよくあります。

労働者協同組合の相談窓口を開設

地域の課題を解決したい社会のために何をお役立ちしたいかと考えている方、私たちにご相談ください。特別の条件、勤務先やワークショップなどお問い合わせいただけます。また設立に向けた伴走支援も行います。

お問い合わせ先
ろうきょう(労働者協同組合)
事務局
〒910-0001 福井県福井市
M A I L: roukyou@roukyou.or.jp

ふくい協同労働推進協議会
事務局
〒910-0001 福井県福井市
ワークスコープ・センター事業団
福井事務局
〒910-0001 福井県福井市
TEL: 0776-38-0301
受付時間: 平日10:00~16:00
MAIL: roukyou@roukyou.or.jp

無料

ろうきょうについて
(福井県労働政策)

福井県「ろうきょう」ふくい協同労働推進協議会の発行です

福井県民生活協同組合報誌における労協紹介

取組み(2)勉強会・ワークショップの実施

○参加者の感想

- ・働く人を大切にする法人格が福井にもあると知った
- ・労協とNPOの違いが理解でき、労協は身近なものと感じた
- ・自分が60歳を超えた今、労協の活用の可能性が浮かんた
- ・リタイアした人がいきいきと働けることに驚きとともに共感、今後の就職活動の参考にしたい
- ・自分たちがやりたいと思っていることが、この働き方で実行できることがわかった
- ・地域貢献できる働き方が多く感銘を受けた
- ・将来の就職場所として都会を考えていたが、地元も良いかもしれないと思った



講義の様子

取組み(2)勉強会・ワークショップの実施

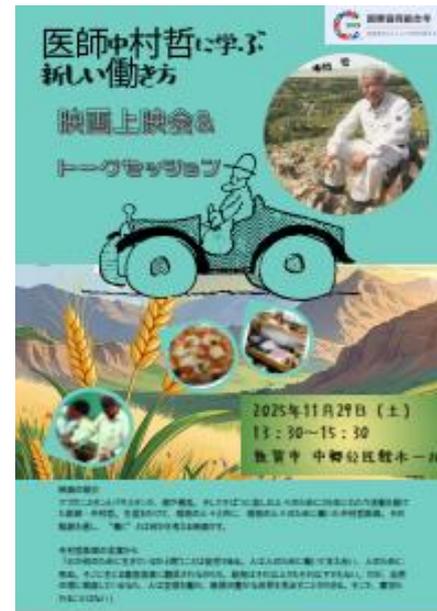
○関連事業

【協議会会員主催】 映画上映会&トークセッション

- ・「医師 中村哲の仕事・働くということ」 上映
- ・アフタートークにおいて、地域活動実践者から労働者協同組合の魅力・伝えたいことなど、ファシリテーターと共に掘り下げ

【県主催】 労働者協同組合周知セミナー

- ・労協法の概要説明
- ・県内外の労協の代表を講師に招き、多様な活動を紹介



トークセッション 「新しい働き方」 登壇者紹介

<p>(開) 豊浜わくわく協働隊 代表社員 浜野 誠治 氏</p> 	<p>敦賀商文化研究所 所長 多仁 雅夫 氏</p> 
--	---

増え続ける企業に新しい働き方
労働者協同組合

敦賀商文化研究所
設立団体 **168** 法人
豊浜わくわく協働隊

日時：2025年11月29日(土) 開場13:00 開演13:30
会場：敦賀市 中野公民館 ホール
〒914-0132 敦賀市若織町36-1
参加費：一般1,000円 高校生500円 中学生以下無料

お問い合わせ
労働者協同組合ワークス・エコー・センター事務局 協働事業課
〒914-0057 敦賀市加茂浜町2-10-10
TEL: 0776-36-4231 FAX: 0776-36-4231
E-MAIL: info@trk.jp
〒914-0132 敦賀市若織町36-1 TEL: 0776-36-4231 FAX: 0776-36-4231
E-MAIL: info@trk.jp



取組み(3)設立・運営にかかる伴走支援

○事業内容

- ・窓口における相談を経て、労協設立に向けて具体的な準備を進める個人や団体等に対し、事業構想や必要書類の作成など、継続的に伴走支援（電話やメールのほか、対面による対応対応や出張相談も実施）

※これまで12団体を支援、

⇒うち、4団体が法人化

2団体が設立に向けた準備を継続中



労働者協同組合チャイルドセンター彩葉



労働者協同組合りたねっと

取組み(4)多様な雇用機会実現のための支援【R7~】

- ・様々な機関と連携し、多様な人材と労協のマッチングを支援
- ・施設窓口や広報媒体を通じ、労協の設立事例を広くPR



事業の成果：県内の労働者協同組合

法人名	所在地	主な事業内容	設立時期
労働者協同組合 りたねっと	福井市	<ul style="list-style-type: none"> ・高齢者の不安や悩みに寄りそう傾聴事業 ・地域ビジネスコミュニティの運営 	R6.10
労働者協同組合 チャイルドセンター彩葉	鯖江市	<ul style="list-style-type: none"> ・放課後等デイサービス事業 ・不登校や引きこもり等の青少年の居場所事業 	R6.11
労働者協同組合 うるしの里椀椀	鯖江市	<ul style="list-style-type: none"> ・伝統産業振興施設内飲食店の運営 ・弁当、惣菜、茶菓、調味料等の製造および販売 	R7.5
志士苺労働者協同組合	福井市	<ul style="list-style-type: none"> ・イチゴの生産・販売 ・イチゴの品種改良、イチゴ苗の販売 	R7.7

設立事例① 労働者協同組合りたねっと

○団体概要

- ・設 立 2024年10月11日 *福井県内 第1号
- ・所 在 地 福井市
- ・事 業 内 容 相手の話を相手の立場で、相手の気持ちに共感し理解する
傾聴スキルを活かした活動
- ・組 合 員 数 5名(医療・福祉の専門家など)

○設立背景

◆様々な地域課題

- ・少子高齢化、地域の過疎化
- ・地域コミュニティの希薄化
- ・行政サービスの限界
- ・医療・福祉業界の人手不足(気持ちに寄り添う余裕がない)



孤独や不安を抱える多くの高齢者 一方で活躍の場を求める多くの高齢者



ケアの本質「一人ひとりの尊厳」に立ち返り、傾聴活動を展開

設立事例① 労働者協同組合りたねっと

○事業内容

サービス内容	【価 格】 1時間 2,500円
	①利用者ニーズに合わせた支援者(傾聴者)の人選(マッチング) ②傾聴活動の実施 ③利用者の強み(好き)を本人と共有 ④利用者より傾聴後の満足度の確認 ⑤利用者の強み(好き)を事業所内で共有 ⑥利用者の希望や必要に応じて地域活動へ
その他	傾聴者のスキル向上のための「講義」と「グループワーク」を実施
場 所	傾聴を希望する高齢者の自宅(訪問)
対 象 者	「話を聞いてほしい高齢者」、「話を聞きたい」対象者



○団体理念(労協の選択理由)

- ・同じ思いや価値観を持つ住民・専門職・行政が仲間として協働し、作り上げる共創ねっと
- ・できる時に、できる人が、できることをする(利用者、支援者ともに自由)
- ・【利用者】 依存する(自立を妨げる)リスクの回避 【支援者】 スキル向上の自覚を促す

設立事例② 労働者協同組合チャイルドセンター彩葉

○団体概要

- ・ 設 立 2024年11月16日
- ・ 所 在 地 鯖江市
- ・ 事 業 内 容 放課後等デイサービス事業、フリースペース 等
- ・ 組 合 員 数 5名

○設立背景

- ・ 児童・生徒の不登校数が急増(10年で2.5倍) ・ 児童生徒の自殺数513人(2023年)
- ・ 発達障害の可能性のある児童・生徒は約8.8%(2022年)



子どもたちがありのまま成長できる環境の大切さ
発達障害の子は孤立やいじめにより、学校への適用が困難に



心身に障がいのある子どもたちの育ちの支え、
引きこもりや高齢者と一緒に個々の尊厳を保持しつつ、
自分らしい心豊かな暮らしの実現

設立事例② 労働者協同組合チャイルドセンター彩葉

○事業内容

<p>事業内容 (主なもの)</p>	<p>児童発達支援・放課後等デイサービス(月～土、利用定員 10人) ・学習支援、ソーシャルスキルトレーニング、地域とのつながり連携 等</p>
<p>今後想定 している 事業</p>	<p>フリースペース(月～金、利用定員 10人) ・学習支援、プログラミング教室、体験活動、 地域とのつながり連携、子ども食堂</p>
<p>場 所</p>	<p>鯖江市内にて、事業所を運営(放課後等デイサービス事業所 みらくる)</p>
<p>そ の 他</p>	<p>2025年4月に開所 (10時～18時の営業、従業員4名以上)</p>



○団体理念(労協の選択理由)

- ・職員も利用する子どもたちも対等な関係で運営
- ・労協の意見反映原則は福祉事業の運営において必要不可欠
- ・組織と人、人と人との互いに認め合い、対等で風通しのよい関係は子どもや若者、職員の人生の土台であり福祉の原点

設立事例③ 労働者協同組合うるしの里^{わんわん}椀椀

○団体概要

- ・設 立 2025年5月7日
- ・所 在 地 鯖江市
- ・事 業 内 容 うるしの里会館内飲食店の運営、地元食材の加工、販売
- ・組 合 員 数 12名

○設立背景

- ・2004年 福井豪雨で大きな被害を受けた鯖江市河和田地区の復興を目指し、翌年に地域の女性が集まり任意団体を設立
- ・地元の伝承料理を越前漆器で提供する飲食店営業と加工品製造、食育活動等を展開

▼

団体設立20年を迎えるにあたり、今後の運営や世代交代を考え、2024年から法人化を再検討

▼

地域の「お手伝い」から時給の出る「仕事」とすることで、やりがいと責任をもって地域の伝統を守り、新しい価値のある商品を生み出していく

設立事例③ 労働者協同組合うるしの里^{わんわん}椀椀

○事業内容

事業内容 (主なもの)	<ul style="list-style-type: none">・飲食店の運営・弁当、惣菜、茶菓等の製造および販売・農産物等の製造および販売・文化講座の企画運営	
今後想定 している 事業	<ul style="list-style-type: none">・弁当や惣菜の販路拡大、地元食材を活かした新商品の開発、 伝承調理を構成に伝える活動、農産物の生産など	
場 所	鯖江市河和田地区(うるしの里会館内「喫茶 椀椀」)	

○団体理念(労協の選択理由)

- ・地域活性化を目的に長くボランティアで飲食店を運営してきたが、活動を若い世代へ引き継ぐため、法人格が必要と考えた
- ・スタッフ全員が運営に参加できること、要件を満たし登記をすることで法人格が付与される仕組みであることから、労働者協同組合を選択

ししご 設立事例④ 志士苺労働者協同組合

○団体概要

- ・設立 2025年7月15日
- ・所在地 福井市
- ・事業内容 日本原産種の夏イチゴの復活
(栽培や販売、収穫体験など)
- ・組合員数 3名

○設立背景

- ・代表の勤務先において、新たな魅力づくりプロジェクトを実施
- ・福井県はイチゴと縁がある(日本で4番目に登録された品種あり)



- ・営利追求ではなく、公益性の高い事業として進めていきたい
- ・苦労を一人ではなく、みんなで背負うことができる



イチゴの生産や研究、農福連携、福祉事業などを通じて社会貢献を行う

ししご 設立事例④ 志士苺労働者協同組合

○事業内容

事業内容 (主なもの)	<ul style="list-style-type: none">・イチゴの生産販売、品種改良・イチゴ苗の販売・イチゴの観光農園・野生種イチゴの保存と活用・農作物の加工、販売・行政未利用地の有効活用・農福連携	
今後想定 している 事業	・夏秋イチゴの生産や、福井県由来の野生種イチゴの新品種開発等を通じた日本全体のイチゴ不足解消策、障がいのある方の安全に配慮した農福連携	
場 所	福井市内(事務所、圃場など)	

○団体理念(労協の選択理由)

- ・営利追求ではなく、公益性の高い事業として進めていきたいという思いがあった
- ・新しいことへ挑戦してみようと思った

今後の設立動向①

○団体概要

- ・設 立 2026年4月1日予定
- ・所 在 地 坂井市
- ・事 業 内 容 子育て支援センター、幼保園、児童館、高齢者施設、
図書館等における絵本の読み聞かせ及びお話会の開催
親子向け講座、保護者支援イベント等
- ・組 合 員 数 9名

○設立背景

2013年に団体を結成
読み聞かせボランティアを始める

メンバーの高齢化に伴い継続の難しさを感じる

今の活動を持続可能なものにしたい

今後の設立動向②

○団体概要

- ・ 設 立 2026年4月1日予定
- ・ 所 在 地 福井市
- ・ 事 業 内 容 個人事業主として、公民館跡でクラゲ水族館を運営
クラゲをはじめ、越前海岸や若狭湾、日本海で見ることが出来る生き物たちを展示
- ・ 組 合 員 数 3名

○設立背景

2022年、公民館跡を利用し水族館をオープン



こどもたちに水生生物に関する体験教育を目指す
魚のはく製作成、解剖等



活動をさらに広げるためには、予算面の支援も必要

事業実施上の課題と今後の展望

1 課題

○福井県内における労協の周知・普及

- ・労協の認知度向上
- ・勉強会やワークショップから相談・支援への流れ

○設立や運営にかかる相談対応の難しさ

- ・法人設立に必要な書類の作成に不慣れな方へのアドバイス
- ・事業の内容により相談が多岐にわたる

2 課題解決に向けて

○市町、商工会議所等への働きかけ

- ・労協が活動形態の選択肢となりうる可能性を地域の方々へ丁寧にお伝え
- ・活動を応援する仕組みの検討

○連携の強化・拡大

- ・協議会構成員相互の情報交換、相談対応の活性化
- ・経済団体、農林漁業団体等との連携、協議会参加へ向けた働きかけ

今後も『オールふくい』による取組みを推進